

205人に聞きました

あなたにとって広報とは

広報「なんこく」が初めて発行されたのは、市制施行と同じ昭和三十四年十月。以来、最初はタブロイド版（A2判）、昭和三十九年からは今と同じB5判で、三十一年余り発行されてきました。また、四十八年からは月二回発行、これは現在も県下で唯一続いており、今号で五六五号に。

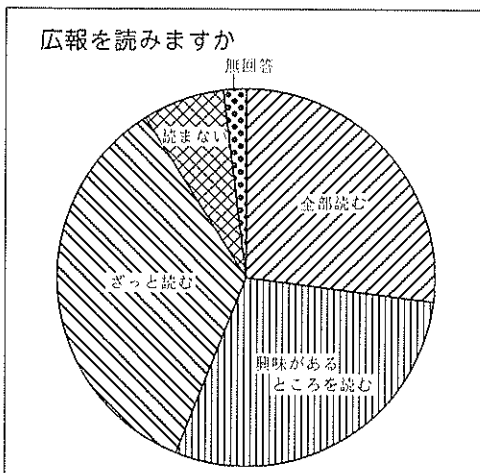
一方、最近では、「内容がお知らせに偏っている」「マンネリ化している」などの声も聞かれます。

そこで、広報委員会では、よりよい広報にしていこうためにはどのように企画、編集していくべきか、市民の皆さんに意見を伺おうと、市内全域から二十歳以上の方六百人を無作為に選び、アンケートをお願いしたところ、二百五人の方が回答を寄せてくださいました。

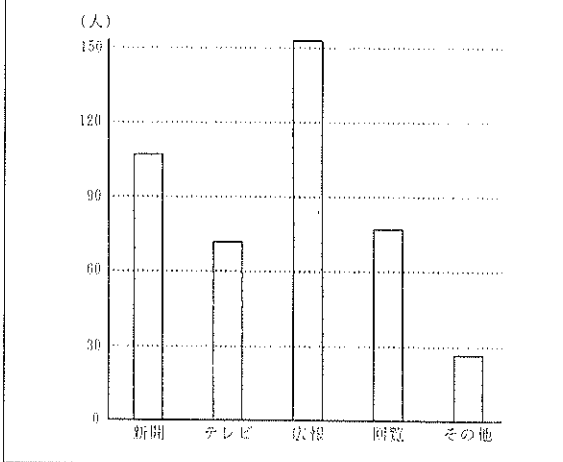
市の動きを

知るのに役立つ

それによると、九割以上の方が広報に目を通し、それによって市の動きを知ると答えています。市民の声を取り上げる場として充実してほしい、「もっと市民が関心のあることを載せてほしい」などの一層の充実を望む意見も多くいただきました。（内は回答回数）



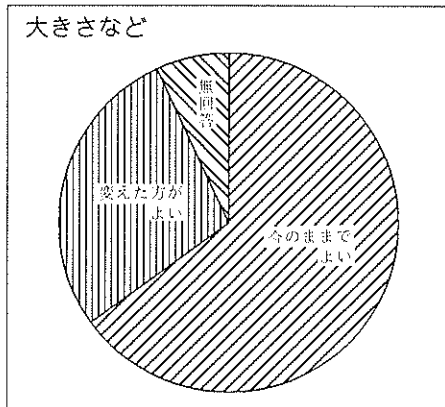
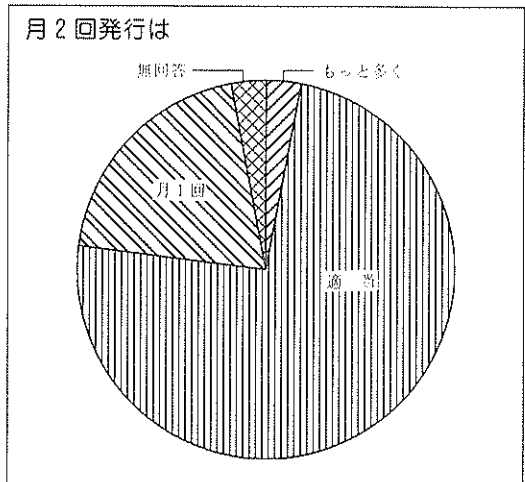
市政や行事などを何で知りますか（複数回答）



- ◆よく見ているのはどの欄ですか（複数回答）。
- 市役所からのお知らせ (115)
- 議会の施政方針や市政報告 (112)
- 市民カレンダー (83)
- 市議会 (82)

- ◆よく見ているのはどの欄ですか（複数回答）。
- 市役所からのお知らせ (115)
- 議会の施政方針や市政報告 (112)
- 市民カレンダー (83)
- 市議会 (82)
- 写真やイラストを増やす (16)
- カラー印刷にする (22)
- ページ数を多くする (23)
- その他 (70)
- 子供の悩み相談コーナーをつくる
- 議会をリアルに報告する
- 他市町村の先端情報を紹介し、取り入れるべきことを客観的に紹介する
- 料理の献立などのページをつくる
- 市民の知りたいことコーナーをつくる

市民の声を 取り上げる場として充実を



- 活字をもっと大きくする (14)
- 見出しを工夫する (11)
- レイアウトを見やすくする
- ◆広報に関する意見（抜粋）
- 市政に対する批判を載せること
- 話題や行事の記事の充実を
- 市民の善意などを記事として紹介し、読者に明るい希望を与えてほしい

市民と行政の

接点として

いろいろな貴重なご意見をありがとうございます。市の催し、市政についてのお知らせは広報の一面としてこれからも大切にしていきたいですが、それだけでは一方的なものになってしま

います。たくさんの方が登場し、市民の意見が出る場として広報を充実させていかなければならないとアンケートを通して再認識させられました。また、市民のニーズに沿った広報を、きちんと年間計画を立てて、企画していきたいと考えています。アンケートでも関心の高かった健康に関する記事については、二月から毎月一日号に「健康ひと口メモ」を掲載しています。また、昨年から設けた「市民のページ」にはだんだん皆さんからの投稿も寄せられるようになってきました。四月からは、高齢者の方にも読みやすいよう、活字を大きくすることも予定しています。

一歩ずつではありますが、広報が皆さんと行政の接点となるように努力していきますので、今後ともよろしくお願ひします。
(南国市広報委員会)

広報に関するアンケート

